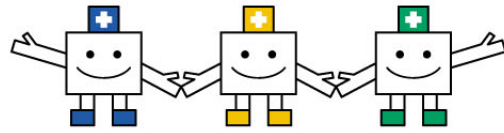


近隣の先生方の紹介

病診連携でお世話になっている診療所の先生方をシリーズでご紹介します



よつ葉クリニック

前田 巨人

内科・リハビリテーション科・往診、在宅医療
大阪市東成区大今里3-14-23 TEL 06-6976-0048



診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00~12:00	○	○	○	○	○	○
17:00~20:00	○	○		○	○	

特色

通院が困難な患者さまに
*往診・訪問診療・看護・リハビリ
*自動車による無料送迎サービス、を行っています。

設備

胃カメラ(口から、鼻から可能。極細径5.9mm)
大腸カメラ、腹部・心臓超音波、一般レントゲン
心電図、24時間心電図、肺・呼吸機能検査、聴力検査、
骨密度測定、禁煙治療、各種リハビリ機器、ウォーターベッド

診療方針

優しく、わかりやすく、丁寧にをモットーとしています。

患者さまへのメッセージ

優しく、わかりやすく、丁寧な「かかりつけ医」を目指しております。どのようなことでもお気軽にご相談下さい。



土井医院

土井 利毅

内科・神経内科
東大阪市柏田東町6-16 TEL 06-6727-0566、06-6721-9520



診療時間	月	火	水	木	金	土
8:30~12:00	○	◎	○	○	○	○
17:30~20:00	○	◎		○	○	

火曜日は土井 利方(内科)が担当します。

特色

院長(土井 利毅)は日本神経学会認定神経内科専門医、
日本脳卒中学会認定専門医です。

設備

X線撮影装置・心電図

診療に対するモットー

神経疾患を中心にまじめに見落としのないように、
患者さんの診療をと考えています。

患者さまへのメッセージ

頭痛、物忘れ、しびれ、ふるえ、
筋力低下、歩行障害などのあり
ふれた症状が神経疾患による
ものであることが多いです。
一度、拝見させて下さい。



※先生方のご投稿をお待ちしております。様式については地域医療連絡室(担当:黒川、田中、宮本)までお問合せ下さい。

編集後記

今年も残暑が厳しく、暑い日々が続きましたが、ようやく、さわやかな初秋の季節となってきました。季節の変わり目は体調を崩しやすい

時期ですのでくれぐれもお気をつけください。
今後も、「はぐくみ」により多くの情報を発信できるよう努力してまいりますので、よろしくご祈願致します。



はぐくみ

医療法人育和会 育和会記念病院

育和会記念病院 〒544-0004 大阪市生野区巽北3丁目20番29号 TEL 06-6758-8000(代表) FAX 06-6758-5690 http://www.ikuwakai.or.jp/
介護老人保健施設 ひまわり 〒544-0012 大阪市生野区巽西2丁目9番31号 TEL 06-6751-7290 FAX 06-6751-8900

地域医療における看護師の役割

～安心・信頼・尊重の看護～



看護部長
小澤 やつ子

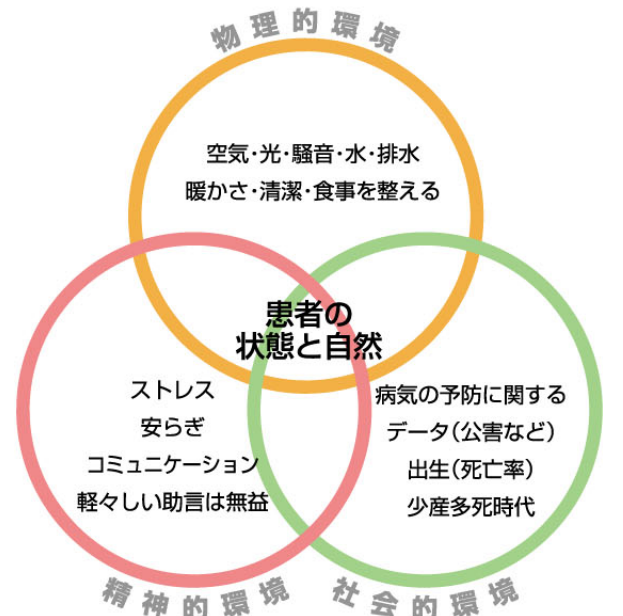
19世紀半ばF・ナイチンゲールは、クリミア戦争で負傷した兵士たちの病室の窓を開放し、空気を入れ替え、ベースン1杯のお湯で身体を拭きました。精神的・物理的・社会的の3側面の環境を整えることで死亡率が減少したことなどを統計処理し、軍に看護環境の改善を要求しました。ナイチンゲールは、今尚看護の原点ですが、その後医学は男性中心に進歩し、特に日本では、看護師は診療の補助をする者としての認識が強いと思われがちです。しかし、多くの看護師は「療養上の世話」や、メタボリック症候群や虚血性心疾患など生活習慣病への生活指導、がん患者・家族への支援などにもやりがいを感じています。近年では末期患者のサポート施設などを開業する看護師もおり、来たる少産・多死の時代に向け、在宅での看護師の活躍が望まれています。

医師不足対策として看護師の役割を見直す動きがあり、厚生労働省は昨年末、静脈注射に加えて看護師への救急外来での診療に関わるトリアージや、患者や家族への説明などの業務拡大を通知し、看護師の裁量権拡大についても検討されています。また、日本看護協会は1995年に高い能力を持つ看護師の認定制度を設け、がんや感染管理など認定看護師(Certified Nurse)は17分野で現在4,458人と大幅に増え、2008年度から宣伝も可能となりました。専門看護師(CN Specialist)も9分野を34の大学院で養成しています。当院でも看護教育に力を注いだ結果、感染の認定看護師など専門性をもった看護師が活躍しており、今後も教育体制をさらに整えていくことで看護レベルが向上し、医師との業務分担ができるのではないかと考えます。教育を充実させた効果で看護体制も13対1から10対1となり、「看護師の対応が良くなった」との患者さま・御家族の声が聞かれるようになりました。10対1となったことで離職が減少し、応募してくる看護師が増加するなど相乗効果が現われています。

当院は、現在40以上の地域の先生方及び施設と連携しており、24時間救急医療を提供しています。また7月からは急性期医療機関としてDPCによる診療報酬算定を開始しました。今後、地域医療連携をより深め、地域医療支援病院を目指したいと考えています。地域医療連携室の看護師は1名で、看護部としてもまだ力不足ではありますが、地域の健康危機管理を担えるよう、安心・信頼・尊重の看護体制を整えていきたいと思っております。

ナイチンゲールが考える環境の3側面

- 看護のなすべきことは
- 自然が患者に働きやすいように
- 最も良い状態におくこと(環境を整える)
- である。



院内紹介 1

呼吸器科

副部長 塚田 要(つかだ よう)



平素は当科の診療に関しまして御指導・ご協力を賜り誠にありがとうございます。当科は院長を筆頭に、副部長1名・医員2名で構成され日々診療にあたっております。外来は月曜から土曜まで午前、火・木の午後は担当医が診療にあたり、水曜の午後は禁煙外来を設け希望される患者様の禁煙を支援しています。さらに慢性呼吸不全の呼吸器リハビリをはじめ在宅酸素療法の指導、慢性閉塞性肺疾患や結核後遺症・気管支喘息の外来治療にも力を入れています。特に最近では慢性閉塞性肺疾患(COPD)の早期診断・治療の必要性が唱えられており、当院では診断から治療・リハビリまで力を入れてコメディカルを含めスタッフが全力で取り組んでおります。一方、入院では肺炎をはじめとする呼吸器感染症、急性呼吸不全や気胸などの急性期疾患にも対応し、早期にかけつけ医の診療所の先生方への外来治療への移行をめざしています。また気管

支鏡検査や睡眠時無呼吸の診断検査も可能となっておりますので対象となる患者様がいらっしゃる時は地域医療を通じてぜひ御相談・ご紹介ください。



左から塚田、栗原、川野、梅田

院内紹介 2

麻酔科

副部長 岩崎 英二(いわさき えいじ)



平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

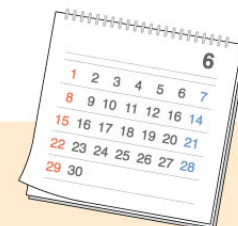
当院、麻酔科は現在常勤医1名と近畿大学医学部附属病院麻酔科より派遣される非常勤医師で手術麻酔を行っております。当院麻酔科では患者様に安心して

手術を受けていただけるように、また、より快適な術後の生活を過ごしていただけるように努めております。

当院には3室の手術室があり、各手術室の環境管理には手術室ごとに温度や空調設備を始めとして新しい設備を導入し

ております。各科の全身麻酔症例はもちろん、局所麻酔で行われる症例においてもできる限り快適な状況で手術を受けていただけますよう心がけております。同時に術後の疼痛管理についても個々の患者様の病状に合わせて各種薬剤や鎮痛方法を選択し、安全かつ快適な環境で過ごせるように配慮しています。

患者様に安定した質の高い医療を提供出来るよう、手術室スタッフ一同努力しておりますので今後とも宜しく願い申し上げます。



インターネット検査予約のご案内



当院では、インターネットによるMRI・CT検査予約を始めており、各先生方には好評を得ております。

24時間いつでも受付OK、画面に従って情報を入力していただくだけの簡単なシステムです。

また、一ヶ月単位のカレンダーでは、予約空き情報が簡単に分かり、大変便利です。是非、ご利用ください。なお、ご利用をご希望される場合は、お手数ですが、まずは地域医療連絡室までご連絡ください。手順マニュアルを持って担当の者が説明に伺います。

新任医師紹介



外科部長
櫻井 康弘
さくらい やすひろ



4月から外科へ赴任いたしました櫻井康弘です。昨年3月まで当院外科で約6年間お世話になり、大学人事で他院へ移動になりましたが、今回、縁あって再度大学人事で当院へ戻って参りました。その節は当地域の諸先生方には大変お世話になり、感謝しております。小生は消化器外科、特に肝、膵胆道外科を専門としており、大学では膵臓癌の臨床、研究に取り組んでおりました。当院では西森副院長の指導の元、一般外科ならびに肝胆膵外科、膵胆道のIVR、ERCPを中心に仕事をして参りました。また、救急病院という性格上、急性虫垂炎、消化管穿孔、イレウス等の緊急手術のみならず、消化器内科の分野の胆道感染症のIVR等も積極的に行なっておりました。しかし、当院では昨年4月に消化器病センターが開設され、消化器内科医師の増員があり、センターでの消化器疾患の治療が充実してきております。今回の赴任にあたっては外科チーム医療を推進するとともに消化器内科医となおいっそう連携して外科疾患、消化器疾患の治療にあたって行きたいと考えております。今後、心機一転微力ながら地域医療に貢献して参りたいと存じますので御指導御鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。



循環器科副部長
山本 干城
やまもと かんじょう



はじめまして。本年8月より育和会記念病院に赴任いたしました山本干城です。平成8年に京都大学医学部を卒業し、以来、虚血性心疾患に対する心臓カテーテル治療を中心とした循環器疾患を専門に診療に従事して参りました。近年は日本赤十字社和歌山医療センターおよび倉敷中央病院において勤務し、数多くの患者さんを診察・治療する機会に恵まれ、循環器疾患診療における技術・見識を深められたと感じております。近年の高齢化とともに、循環器疾患に対する地域のニーズも高まっているとお聞きしております。これまでの経験を活かし、少しでも地域の期待にお答えすべく精進させていただくつもりです。循環器疾患が疑われる患者さんはどしどしご紹介いただければ有難く存じます。若輩のためいろいろと御迷惑をお掛けすることと存じますが、御指導・御鞭撻の程、何卒宜しく申し上げます。



整形外科副部長
新山 文夫
にいやま のりお



平成7年近畿大学卒。近大附属病院4年、近大救命センター5年、倉敷中央病院3年、ベルランド病院1年が私の経歴です。専門は脊椎疾患ですが、救急外傷治療に携わっていたことから、骨折に伴う急性期合併症や骨髄炎、変形矯正、骨延長なども得意分野です。悪性腫瘍、先天奇形、小児外傷などを除けば、一般整形疾患に広く対応できるものと思われまますので遠方基幹病院へ御紹介の前に当院への御紹介を御検討頂ければ幸いです。



消化器科
桑村 光
くわむら ひかる



8月より消化器内科として勤務させていただきます桑村光と申します。平成12年に大阪市立大学第三内科に入局いたしました。その後主に消化管の診療、研究を行い、平成19年に大学院を卒業致しました。昨年1年間は藤井寺市民病院にて勤務しておりました。当院では消化器疾患とくに消化管疾患を中心に診断、治療を進めていきたいと考えております。今後とも宜しく願い申し上げます。



呼吸器科
梅田 喜亮
うめだ のぶあき



本年4月に大阪市立大学医学部附属病院より当院へ赴任いたしました梅田喜亮です。大学病院では入院で肺癌の化学療法など専門治療にあたる一方、研究では慢性閉塞性肺疾患の遺伝子多型についての研究を行なっていましたが、今回はより幅広く一般臨床に即したたくさんの患者さんの治療にあたりたいと希望し、当院での勤務の運びとなりました。すこしでも地域医療に貢献できるようがんばっていく所存ですのでどうぞ御指導・御鞭撻の程宜しく願い申し上げます。